



かもみーる通信



51号 2014年9月

トピックス

- * WLB開講案内
- * 長良高校出前講義
- * カモミール月曆
- * なでしこ教養セミナー
- * 岐大フェア出展
- * 保育園たより

ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論） 開講案内



10月7日から全学共通教育科目「ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）」の授業（火曜3限）が始まります。

本講義は「男女共同参画社会」という言葉を理解し、その理解に基づき現在の日本社会を認識する力を修得することを目的としています。男女共同参画社会の実現には、ワーク・ライフ・バランスのとれた生活が必要です。そのためには、国、企業、個人のそれぞれがどのような役割を果たすことができるかを学ばなければなりません。

講義では、就業、結婚、家族といった身近な話題を用いながら、このテーマを論じていきます。男女共同参画推進室の松井真一特任助教がコーディネーターを務め、男女共同参画推進室員や学外からの講師を招き、多様な視点から男女共同参画について学びます。お近くに興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ受講をお勧めください。

長良高校出前講義



9月16日（火）に連合農学研究科2年 Pham Thu Haさん（ベトナムからの留学生）、応用生物科学研究科2年 小森千晴さん、同研究科2年 小池田真知さんが、岐阜県立長良高等学校の1年生400名を対象とした出前講義をおこないました。

Phamさんは「研究が楽しい！」と題して、産米林景観についての研究と留学生活について、小森さんは「私の学生生活」と題して、カワゲラの生息についての研究と大学院生活について、小池田さんは「とある大学院生のお話」と題して、糖鎖についての研究と大学院生活について、それぞれ講義をおこないました。

いずれの講義でも研究テーマと大学院での生活が紹介され、大学での研究への興味が喚起されたようです。受講した高校生からは「毎日大変そうだけど、とても楽しそうであらやましい」、「大学院の研究などについてわかり、とても興味を持つことができた」、「夢に向かって頑張りたい」という感想が寄せられており、今回の講義を通して研究の楽しさを伝えることができました。



▲小森千晴さん



▲小池田真知さん



▲ Pham Thu Haさん

カモミール月暦（室長からのメッセージ）

「少子化問題を考えるシンポジウム」に参加して

副学長（多様性人材活力推進担当） 林 正子

9月6日（土）、大垣市情報工房スィンクホールで岐阜県主催の「少子化問題を考える県民シンポジウム～少子化という危機～」が開催され、パネル・ディスカッションのコーディネーターを務めさせていただきました。本学における男女共同参画推進の取り組みの今後の方向性や可能性について検討する際に、多くの示唆を得ましたので、以下に、その概要をご紹介します。



基調講演は、厚生労働事務次官の村木厚子氏による「子どもたちの未来のために、今、少子化問題を考える」。合計特殊出生率の推移、人口構造の変化、社会保障の将来推計など、国のレベルでの「少子化問題」の現状と課題が論じられ、結婚や出産をめぐる実情や労働環境の状況などについても、身近な話題を交えて語られました。

急速な少子化は、不安定な雇用、仕事と生活の不調和、育児不安など、出産・子育てと働き方をめぐる問題に起因するところが大きいことから、仕事と家庭を両立しやすい職場環境の整備が必要であるとともに、父親の家事・育児参加を妨げている「働き方の改革」が急務であることも指摘されました。「仕事と家庭の両立支援」は、まさに男女を問わず重要であることが、改めて浮き彫りにされた基調講演でした。

続くパネル・ディスカッションでは、企業や行政、子育て中の県民を代表する4名のパネリストによって、社会保障制度や経済活動の崩壊、子どもの社会性の低下など、さまざまな弊害をもたらす少子化問題についての実情・実感が語られました。

岐阜県子ども・女性局長の河野恭子氏によれば、岐阜県の人口は2005年頃から減少を続けており、今後、約50万人の大幅減少によって、2040年には約158万人となる見込みであるとのこと。岐阜県では、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業に就く方がよい」と考える女性が多いとのアンケート結果報告もありました。



株式会社トーカイ代表取締役の小野木孝二氏からは、少子化の進行によって働き手も消費者も減少し、企業経営が成り立たなくなることや、トーカイのように多くの女性が働く福祉や医療現場では、女性の就業支援を強化してゆくことが重要課題であることが強調されました。

エフエム岐阜アナウンサーの平松亜希子氏からは、子どもたちの世代が将来的に負わされる膨大な負担への不安や、夫婦だけの世帯が子育てをする場合、女性は短時間勤務やパートを選択せざるを得ない実情が訴えられました。

東レ岐阜工場エクセーヌ製造部長の石濱泰三氏からは、産休や育休に対する社員の意識に変化が見られる一方で、少子化によって地域の結びつきが弱まり、子どもの社会性の低下が危惧されること、歴史・文化の継承力も衰退し、故郷自体が消滅するのではないかという不安が語られました。

このように、参加者がそれぞれの立場で「少子化という危機」を受け止め、今後の生き方を考えるという趣旨が、遺憾なく発揮されたシンポジウムとなりました。

大局的に将来を考え、自分たち自身と次世代の子どもたちが夢や希望を持って生きてゆける環境を、ともに考え、ともに創ってゆくことが、今、求められています。当事者意識をもって「少子化問題」に向き合うことは、私たちひとりひとりが、「しあわせ」とは何か、いかに生きるか、ということを考える契機であり、指針となる可能性を孕んでいるのではないのでしょうか。





なでしこ教養セミナー



8月30日（土）に岐阜大学サテライトキャンパスにて開催しました。

「遺伝子組換え作物を考える」

応用生物科学部 山根京子 助教

我々が日頃口にする食品のなかでも関心の高い遺伝子組換え作物について、現状と将来の展望について紹介しました。貴重な土曜日にご来場いただいた方々に御礼を申し上げます。

世界ではすでに、トウモロコシの3割、ナタネの2割、ダイズの8割以上が遺伝子組換え作物となり、栽培面積は増え続けています。これに対して日本では、一部の観賞用の花卉類を除き、商業用の栽培は行われていません。穀類の多くを輸入に頼っている日本は、推定で1500万トン以上の遺伝子組換え作物を輸入し、「遺伝子組換え作物大量消費国」となっていますが、あまり認識されていないのが現状です。世界は今、食料難の時代に突入し、今後ますます深刻化すると予想されます。この困難に立ち向かうためには、品種改良の速度を高めることが急務となっています。安全性を確保しながら、食糧危機を乗り切るにはどうしたらよいのか？我々は多くの課題と向き合うべき時を迎えています。



開講日	時間	会場	内容	講師
2014.4.26（土）	14:00-15:30	岐阜大学 サテライトキャンパス	近代日本における女性解放の先駆者 ——岸田俊子の愛と革命——（日本近代文学）	林 正子 （副学長・男女共同参画推進室長）
2014.5.17（土）	14:00-15:30	ハートフルケアAG	肌のうるおいを保つために ——皮膚バリア機能と皮膚病を知ろう——（皮膚科学）	清島真理子 （医学系研究科教授）
2014.6.14（土）	16:00-17:30	岐阜大学 サテライトキャンパス	若い男女（大学生）のための身体の基礎知識 （内科学（内分泌・代謝学）、健康科学、保健管理）	山本真由美 （保健管理センター長）
2014.8.2（土）	14:00-15:30	岐阜大学 サテライトキャンパス	介護を必要としないための高齢者の健康づくり （スポーツ医科学（体力測定評価））	辛 紹照 （医学部医学系研究科助教）
2014.8.9（土）	10:30-12:00	岐阜大学 サテライトキャンパス	アーミッシュのライフスタイルから現代社会を考える （生活経済学、ライフスタイル論）	大藪千穂 （教育学部教授）
2014.8.30（土）	14:00-15:30	岐阜大学 サテライトキャンパス	遺伝子組換え作物を考える（植物遺伝育種学）	山根京子 （応用生物科学部助教）
2014.10.18（土）	10:30-12:00	じゅうらくプラザ	ことばとコミュニケーションの心理 ——滑らかに話せない——（聴覚言語障害学）	村瀬 忍 （教育学部教授）
2014.10.25（土）	14:00-15:30	岐阜大学 サテライトキャンパス	衛星データがとらえるアジア・日本・岐阜（環境科学）	魏 永芬 （流域圏科学研究センター准教授）
2014.11.29（土）	14:00-15:30	岐阜大学 サテライトキャンパス	生活の近代化と生活改善運動 ——和洋折衷服を考案した尾崎芳太郎の挑戦—— （生活文化史、家庭教育）	夫馬佳代子 （教育学部教授）
2014.12.27（土）	14:00-15:30	岐阜大学 サテライトキャンパス	コミュニケーションスタイルの異文化間比較（言語学）	橋本永貴子 （地域科学部教授）

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜の共同プログラム「女性の活躍 なでしこ教養セミナー」とは？

岐阜大学の女性教員10名による、それぞれの専門分野を活かしたリレー講義（全10回）で、コンソーシアム加盟大学の学生、とくに女子学生に対しては、女性研究者としてのロールモデルを提示するとともに、教職員と一般市民の方々には、幅広い知識を涵養する教養講座としての機会を提供することを趣旨としています。



岐阜大学フェア2014に出展します

11月1日（土）におこなわれる「岐阜大学フェア2014」に男女共同参画推進室が参加します。

男女共同参画推進室は、本企画に2011年から参加し学内外の方々に取り組みを紹介しています。男女共同参画推進室を利用されたことがない方も、この機会に当室の取り組みをご覧ください。引き続き活動へのご協力をお願いできれば幸いです。

岐阜大学フェア2014にお越しの際には、ぜひ当室のブースにもお立ち寄りください。



◀昨年度の配布資料

▲昨年度のパネル

今年も参加します！

保育園たより

8月22日の夏祭りでは色んなことをして遊んだよ♪

まだご紹介していなかった6月のじゃがいも掘りの様子です♪



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL： <http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel：058-293-3378 Fax：058-293-3396 E-mail： sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。